

所 属	健康福祉部子ども・女性局子育て支援課		
係 名	母子保健係	内線	2430

【新】妊婦・子育て家庭に対する支援の充実

1 事業費	1,350,637 (0 → 1,350,637)
	【財源内訳】
	国庫 1,089,565
	一般財源 261,072
	【主な使途】
	補助金 1,350,637

2 背景・事業目的

核家族化が進み、地域のつながりも希薄になる中で、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が喫緊の課題となっている。

そのため、妊娠期から出産・子育てまでの一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施する市町村に対し補助することで、妊婦・子育て家庭に対する支援の充実を図る。

3 事業概要

出産・子育て応援事業費補助金（1,350,637千円）

国の出産・子育て応援交付金を活用して、伴走型相談支援と出産・子育て応援ギフトの支給に取り組む市町村に対し、その経費の一部を補助する。

<参考> 出産・子育て応援交付金の概要

[実施主体]	市町村
[対 象]	令和4年4月以降に出生された方
[事業内容]	<p>①伴走型相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「妊娠届出時」「妊娠8か月前後」「出生届出時」に保健師等が出産・育児に関する面談やアンケートを実施 <p>②出産・子育て応援ギフトの支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届や出生届提出時に計10万円相当の経済的支援を実施 妊娠届出時：出産応援ギフト（5万円相当）（※） 出生届出時：子育て応援ギフト（5万円相当）（※） ※商品券や電子クーポン、現金による給付 <p>③システム構築等導入経費の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援を行うためのシステム開発経費
[負担割合]	①及び②：国2/3、県1/6、市町村1/6
	③：国10/10

(款) 4 衛生費	(項) 2 保健所費	(目) (1) 保健所費
(明細書事業名)	○母子保健指導費	
	母子保健訪問指導等事業費	

所 属	商工労働部観光国際局観光誘客推進課		
係 名	国内誘客係	内線	3075

“ほっと一息、ぎふの旅” キャンペーン継続による さらなる観光需要喚起

1 事業費 3,028,003 (8,921,979 → 11,949,982)

【財源内訳】

国庫 3,028,003

【主な使途】

委託料 2,162,763

補助金 865,240

2 背景・事業目的

本年10月から観光需要喚起策「全国旅行支援」として開始した“ほっと一息、ぎふの旅”キャンペーンは、コロナ禍で厳しい状況にある県内観光産業にとって、回復に向けた追い風となった。

しかし、長期にわたるコロナ禍での影響により疲弊した県内観光産業を回復させるためには、年明け以降も引き続き感染状況を見極めつつ、全国を対象とした観光需要喚起策を実施し、観光消費の拡大を促進する必要がある。

3 事業概要

“ほっと一息、ぎふの旅”キャンペーンの継続実施(3,028,003千円)

新型コロナウイルスの感染状況を見極めつつ、県内旅行の割引を行う“ほっと一息、ぎふの旅”キャンペーンについて、年明け以降も、割引率等の制度を見直した上で実施する。

<参考> “ほっと一息、ぎふの旅”キャンペーンの概要

	現行(12/27まで)	見直し後
割引率	40%	20%
割引限度額	交通付旅行商品(※): 8,000円(1泊当たり) 上記以外: 5,000円(日帰り含む)	交通付旅行商品(※): 5,000円(1泊当たり) 上記以外: 3,000円(日帰り含む)
ぎふ旅コイン	3,000円(平日) 1,000円(休日)	2,000円(平日) 1,000円(休日)

※鉄道、バス、タクシー、航空などを組み込んだ旅行商品のこと

(款) 7 商工費 (項) 2 観光費 (目) (2) 観光開発費
(明細書事業名) ○ 観光対策費
飛騨・美濃じまん推進費